



さんびょう6

三錨^{VI}

本気に 元気に 根気よく

四日市市立富洲原小学校
学校だより

No. 7

平成29年 7月 4日



早いもので、気が付けばもう7月。いよいよ夏本番となってきました。ナス、トマト、キュウリなどの夏野菜もぐんぐん育ち、実りの夏を迎えています。

1学期も残すところわずか、もう少しで夏休みです。1学期の学習のまとめと、夏休みに向けての計画を、しっかりとしていきたいと思います。

◇ 地域とともにある学校づくり

第2回学校運営協議会（コミュニティスクール）を、6月29日（木）の10時30分から開催しました。まず、参加いただいた9名の委員の方に、3限目の全学級の授業を参観いただいた後、校長室にて協議会を行いました。最初に学校ホームページをご覧くださいながら、校長から最近の学校の様子について説明。その後、授業参観の感想をうかがい、質疑や意見交換を行いました。その主なものは以下の通りです。



- ・初めて授業の様子を見させてもらったが、予想していたより子ども達が明るく元気で、安心感を覚えました。
- ・みんないい顔で、楽しそうに意見を言っていた授業が印象に残りました。
- ・今年は、「教師が出すぎない授業」を合言葉に、子ども達が活動し、活躍できる場面を増やす授業をめざし取り組んでいます。
- ・幼稚園の園児も、小学校の3カ月でこんなに成長するんだと感じました。
- ・毎朝、登校指導をしています。今の小学生の子はよくあいさつをしてくれます。1年生から6年生まで、素直で人懐っこい子が多いです。
- ・授業中は落ち着いているが、休み時間に多くの子が外で元気に遊んでいるのを見ると安心します。メリハリが効いていていいと思います。
- ・学校が好き、友達が好きという子が多いんだろうなと思います。
- ・「三錨会」も、富洲原ならではの伝統。昔から小学校時代の結びつきが強く、思い出が深いのでしょう。

- ・少人数授業（学級を2分割）は、算数だけですか？体育や家庭など、複数指導者がいるといいのではないですか。
- ・2分割でやっているのは、算数だけです。今後、コミュニティスクールとして、いろいろな活動で、保護者や地域の方のボランティアの支援もいただけるとありがたいと思っています。

貴重なご意見ありがとうございました。評価や温かい応援の声をたくさんいただき、励みになります。今後の学校運営に生かしていきたいと思っています。次回は、9月の創立141周年記念式典に参加をいただく予定です。

◇ 世界の子どもたちへ



6月26日（月）～30日（金）まで、「ユニセフ募金」が行われました。世界の子ども達の命と健康を守るため、少しでも力になろうと、児童会から全校に呼びかけました。期間中は、児童会役員の児童が、毎朝中央昇降口に立って募金活動を行ってくれました。その思いに応えて、たくさんの子が募金に協力をしてくれました。去年は約1万円集まったので、今年は1万5000円を目標にしていました。結果的には19,058円の募金が集まったそうです。

世界には、今も戦争で傷ついたり、食べ物がなかったり、病気になっても治療が受けられない子ども達がたくさんいます。みなさんの気持ちが届き、少しでも役立つことを願っています。



◇ 不審者対応訓練



「1年1組に大きな荷物が届きました。南校舎1階を避け、運動場の鉄棒前に移動しなさい。」6月26日（月）午前10:47、全校に校内放送が入りました。これは、「不審者対応訓練」に伴う避難指示の放送です。2限目の途中に、1年1組へ不審者が侵入したという想定で、児童を安全に避難させ、不審者を取り押さえるための訓練を行いました。「大きな荷物」は、「不審者が出た」という校内の暗号となっています。

避難指示の放送があってから、全員の避難が完了し、人数確認が終わるまでに5分ちょうど。

まずまず整然と落ち着いて行動ができたと思います。

事後の指導では、四日市北警察署生活安全課の警察官の方から、講評をいただきました。「避難するときは、まず静かに放送や先生の話聞くことが大切です。次どうするか、指示をきちんと聞かないと大変なことになるかもしれません。今日、皆さんの様子を見ていたら、ほとんどきちんと行動が出来ていたと思います。」と評価をいただきました。前日の早朝にも、震度2の地震がありました。校長からも、不審者に限らず、緊急時にはまず静かに放送や先生の話聞くことが大切であることを確認して、訓練を終えました。

